

株主・投資家への責任

株主・投資家とのコミュニケーション

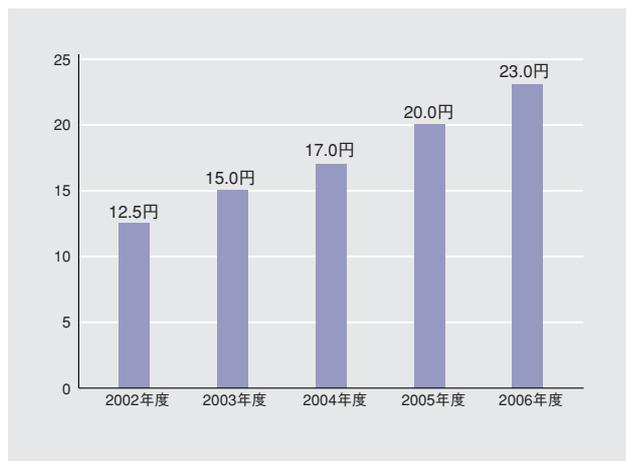
株主利益の拡大を図るとともに、株主・投資家への公正かつ迅速な情報開示を行ってまいります。

株主還元に関する基本方針

カシオは、株主の皆様利益を維持・拡大することを重要な経営課題と位置付け、業績の向上と財務体質の強化に努めています。配当については、安定配当の維持を基本に、利益水準、財務状況、配当性向などを総合的に勘案して成果配分を進め、株主の皆様への貢献を強化しています。また、内部留保については、企業の安定成長に必要な研究開発や投資に充当することにより、更なる業績の向上と経営体質の強化を図ります。

2006年度の配当金につきましては、業績などを勘案し、前期実績の1株につき20円から3円増配の1株につき23円とさせていただきます。これは4期連続の増配となります。

配当金推移



株主・投資家とのコミュニケーション

カシオは「カシオ倫理行動規範」において、「私たちは、社会から信頼される透明度の高い経営をする企業を目指し、企業情報は適時適切に開示し、株主をはじめステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを積極的に行います。」と掲げており、この方針に基づき、株主・投資家の皆様に向け、積極的なIR (Investor Relations = 投資家向け広報) 活動を行っています。

IRイベントの開催

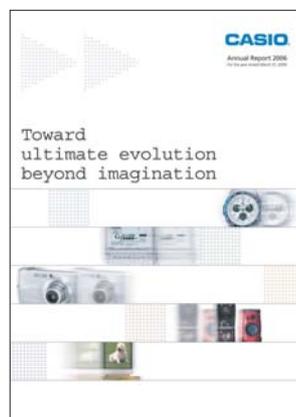
四半期毎の決算発表当日に、機関投資家や証券アナリストの方々に向けた決算説明会を開催しています。社長またはIR担当取締役がメインスピーカーとなって、決算実績概要や将来の見通しについて説明しています。その他にも、国内外の機関投資家や証券アナリストとの個別ミーティング、工場見学会や特定事業にスポットを当てたスモール・ミーティングなどを随時行っています。



決算説明会

IRツールの充実

株主・投資家の方々に向けたIRツールとして、決算発表関連資料(四半期毎)、アニュアル・レポート(年1回)、事業報告書(半期毎)を発行しています。これらは配布、郵送やWebサイト「投資家の皆様へ」での公開により、国内外を問わずタイムリーにご覧いただけるように対応しています。



アニュアル・レポート



事業報告書



「投資家の皆様へ」Webサイト
<http://www.casio.co.jp/ir/>

個人投資家への対応

Webサイトを通じた情報開示の充実を図ると共に、株主総会においては、その内容充実は勿論のこと、総会後に経営説明会を開催、また、商品展示・説明の場を設けるなど、個人投資家の方々に向けた情報開示も積極的に行っています。



「投資家の皆様へ」Webサイト



商品展示

IR室でのお問い合わせ対応

カシオのIR活動の中心となるIR室では、総務部との連携のもと、国内外を問わず多くの株主・投資家の方々からいただく様々なお問い合わせに対応しています。

これら株主・投資家の方々とのコミュニケーションを通じて、カシオの現在の姿および将来のビジョンをご理解いただくことは勿論のこと、いただいたご意見を社内へフィードバックし、今後の事業運営、経営判断に活かせるように努めています。

SRI指数への組み入れ状況

SRI(Socially Responsible Investment=社会的責任投資)とは、従来の財務分析による投資基準に加え、法令順守や雇用・人権問題、社会貢献、環境保全などのCSRの側面から企業を評価・選別しようとする投資手法です。近年、SRI指数やSRIファンドの設定が増えており、SRIの理念が投資家の間に浸透しています。カシオは、SRIの調査機関によるアンケートや取材にも積極的に対応しています。カシオは、CSRに取り組むその姿勢を評価され、「モーニングスター社会的責任投資株価指数」(2007年2月1日現在)に組み入れられています。



「モーニングスター社会的責任投資株価指数」は、モーニングスター株式会社が国内上場企業の中から社会性に優れた企業と評価する150社を選定し、その株価を指数化した国内初の社会的責任投資株価指数です。

株式の所有者別状況

2007年3月31日現在、総株主数は29,560名となっております。所有者別状況は、以下の通りです。

株主構成

